

活動報告書

令和 4年 10月 24日

団体名 みどりのまちづくりグループ 53ゼロ会

代表者住所 春日井市坂下町 5-1215-367

氏名 長谷川 昇

電話番号 0568-88-2870

報告書作成者 長谷川 昇

活動日時	参加人数	活動箇所
4. 7. 27～ 4. 10. 2 4. 10. 5 4. 10. 8 4. 10. 12 4. 10. 18	1～2名 13名	路線名 県道春日井瀬戸線 区間 春日井市西尾町667から弥勒山駐車場 延長 約1.8km×両側

活動内容

ゴミの回収作業	
量(袋数)	可燃ゴミ 77袋(春日井市指定450袋) 不燃ゴミ(ガラス、陶器類) 9袋(土嚢袋) 缶 8袋(約900ビニール袋)
内容	多かったもの ペットボトル、弁当ガラなど 特記すべきもの
大型ゴミ危険物等の発見	場所と措置 春日井市西尾町667から南に約350m付近、岩ヶ根上池南岸付近の河原や道路のり面に不法投棄のテレビ、タイヤなど粗大ごみがあり、地域の環境美化活動として春日井市に収集していただくこととなり集めました。
事故・ケガ等	発生の状況と措置 事故・ケガの発生はありませんでした。(作業者を挟んで前後に清掃作業中の幟、ホイッスルを持った交通安全要員を配して車両の接近を知らせて注意を促すと共に、車両にも清掃作業中である旨知らせて徐行を促しました。)今回は公益社団法人食品容器環境美化協会からの助成金でビブスと幟を揃え、これを加えることで、車からの視認性、ひいては作業時の安心感が格段に向上しました。

その他気がついたこと

アダプト制度や道路に関する意見

●適正な活動頻度について

今年度予定は年間4回ですが、これが適正かどうか調べてみました。詳細：第一回目活動日（4.7.26）以降今回の第二回活動日（4.10.18）までの、三ヶ月、約90日間、ほぼ毎日該当区間を往復、歩いてみました。毎日どれぐらいのごみが捨てられるか？ひいては、どれぐらいの頻度でゴミ拾いをすれば“きれい”と言える状態を保てるか？その結果は、缶やペットボトルがU字溝に2～3個という日もあれば、レジ袋に食品トレイ、缶、ペットボトルをいっぱい詰め込んだものが道路上にあるという日もあり、これをカラスが突けばこれらが一面に散乱し、毎日でも掃除しなければいけない状態になります。数値的には、燃やせるゴミが指定袋（45ℓ）で33袋を拾いましたから、33袋/3ヶ月、90日として、3日で1袋45ℓ、1日15ℓ平均ということになります。新規ゴミが主ですが路肩にある時間の経過したビン、缶、ペットボトル、ビニル袋が目に入ることも多くあり、活動継続により長期的にはこのような“古い”ゴミは減ると思います。少なくとも年四回＝3ヶ月毎では不足であるように思われました。

●側溝

支給いただいたU字溝用ジョレンは、さすがに専用設計で効率抜群。傾斜の無いU字溝は掃除が必須ですが、傾斜のあるU字溝は水洗トイレの様に雨水で少々の泥葉は押し流します。それでも小さな木や木片をきっかけに少しづつ溜まり遂には雨水が溢れるほどに閉塞してしまいます。こまめな“きっかけ”の除去が有効です。

●その他

・地域の環境美化活動

前回第一回目は岩ヶ根上池堰堤付近道路ののり面の不法投棄タイヤを集めました。今回は同池を挟んでの南側（上流側）の投棄テレビ（ブラウン管式の重いものです）を集めました。他にタイヤ、洗濯機、石油ストーブなどありました。今回だけで片付かず、次回への積み残しです。

・不法投棄の未然防止

53ゼロ会の究極目的です。罰の重さに見合った取り締まりをしていただくのがベストだと思いますが、当会として何ができるか考えた時にやはり“看板”を立てたいと思いました。この場合、交通への支障のない立て方はどのようなものでしょうか？



ゴミの集積場所① (弥勒駐車場から北 200m 付近)



ゴミの集積場所② (岩ヶ根上池付近)



県道をゴミを拾いながら北方向に徒歩移動中



大きなポイ捨てゴミの例
(カラスがすぐ来て散し放題)



テレビの引き上げ移動作業中
(岩ヶ根上池付近)



“徐行看板”
(岩ヶ根上池付近)



看板例 1

みどりのまちづくりグループ 53 ゼロ会
岩ヶ根上池堰堤付近（第一回活動場所）



看板例 2

尾張建設事務所
大谷川橋上



看板例 3

春日井市公園緑地課
大谷川付近

以上